

- スマホ、PC等より撮影時刻を設定。設定時刻になるとくりわな・箱わな・囲いわな等を撮影(静止画)。
- クラウドに送信された静止画はAIが自動解析。獣種の判定結果は画像付きメールで通知。
- 画像による獣種判断はもとより、エサの状態確認も可能となるため、見回り点検が効率化。

企業概要

- ・(株)電信
- ・本社所在地: 徳島県徳島市川内町平石若宮121-1
- ・TEL: 088-665-6366
- ・資本金: 2,000万円
- ・従業員数: 45名
- ・広島、大阪に拠点を置く
- ・携帯電話無線中継所の設計・施工・保守を主業としており、施工で培った技術・品質をベースにセンサー販売するだけでなく、設計、製造、販売、設置、施工、保守サポートを一貫して受託。IoTソリューションを利活用し地域課題解決に取り組む。



機器情報

機器の概要

- ・カメラは上下左右に稼働。ダッシュボード上で撮影時刻を設定(5回/日)すると設定した時刻に静止画を自動撮影
- ・静止画はクラウドに送信され、AIが獣種を自動解析
- ・野生鳥獣が撮影された場合のみ画像付きメールを送信するモードと撮影時毎に画像を送信するモードの2つを準備
- ・静止画は、いつでもどこでも確認やダウンロードが可能
- ・第7195032号特許取得

使用目的

捕獲通知、わなの稼働状況監視

対象獣種

イノシシ、シカ、サル、クマ、その他小動物

導入効果

- ・毎日のわな見廻り点検の負荷軽減と効率化
- ・捕獲従事者に具体的な指示が可能
- ・当社の目撃情報システムと連携し、データに基づく被害対策の検討が可能

活用技術

- IoT専用無線プロトコル“LTE、Cat.M1”を活用し静止画を送信
- 画像はAIによる自動解析で獣種の特定が可能
- 充電可能な電池を採用し、ダッシュボードシステム上で、バッテリーの状態が確認可能



撮影日時: 2023-12-20 01:13:14
解析結果: シカ (99.9%) [修正する](#)

導入実績

滋賀県大津市・農林水産課

センサー20台、AI搭載鳥獣対策ダッシュボードシステム
＜効果＞

- ・画像による確認が可能のため、見回り点検が効率化
- ・エサの状態が監視できるため、事前に補給準備が可能
- ・捕獲個体を画像で確認できるため、事前に捕獲従事者への止めさし等の具体的な連絡が可能

兵庫県三田市・農村再生課

センサー22台、AI搭載鳥獣対策ダッシュボードシステム
＜効果＞

- ・画像による確認が可能のため、見回り点検が効率化
- ・エサの状態が監視できるため、事前に補給準備が可能
- ・捕獲個体を画像で確認できるため、事前に捕獲従事者への止めさし等の具体的な連絡が可能

徳島県・鳥獣対策ふるさと創造課

センサー59台、AI搭載鳥獣対策ダッシュボードシステム
＜効果＞

- ・画像による確認が可能のため、見回り点検が効率化
- ・エサの状態が監視できるため、事前に補給準備が可能
- ・捕獲個体を画像で確認できるため、事前に捕獲従事者への止めさし等の具体的な連絡が可能

イニシャルコスト、ランニングコスト

イニシャルコスト

有害鳥獣捕獲センサー(本体) 69,800円(税抜)

ランニングコスト

通信費用(目安) NTTドコモ通信網利用に限る 月額 500円(税抜)
AI搭載鳥獣対策ダッシュボード(クラウド)利用料 月額6,980円(税抜)